

<p>地域福祉懇談会（小合地区）</p> <p>日時：令和6年6月19日（水）13：30～14：30</p> <p>会場：小合地区コミュニティセンター 集会室</p>	出席者
	<p>小合コミ協：阿部会長 野瀬山副会長 井浦副会長 澤田副会長 高橋副会長 今井事務局長</p> <p>地区社協：伊藤幹事 井村幹事 古川幹事 岡田幹事 四柳幹事 高野幹事</p> <p>サロン：大鹿ふれあいサロン鈴木代表 サロンとき吉田代表 サロンさくら会井浦代表代理</p> <p>子成場いきいきサロン大竹代表 大秋にぎやかサロン星野代表 蕨曾根いきいきサロン高野代表</p> <p>ふれあい興寿小田代表</p> <p>包括こすど：木村センター長</p> <p>秋葉区社協：横山事務局長補佐 小林</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
見守り・交流	<p>○コミ協の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月、12月になじらて訪問を実施予定。 →全地区から名簿の作成協力をいただき、6月中に準備を行う。 ・歳末見守り事業は区社協と内容を相談し、今年度も実施予定。 ・6月に小・中学校一斉に自主防災訓練を実施予定。 ・クリスマス会など、親子を交えた多世代交流に取り組む。 ・健康福祉課と連携し、フレイルや生活習慣病予防を実施する。 	<p>○見守り活動の継続</p> <p>○多世代交流行事を継続</p>
居場所	<p>○サロンについて （コミ協）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミ協が中心となり、サロンの活動がない地域を対象に、交流ができるようにしたい。 ・コミ協が地域の受け皿となり、地域でサロンの活動ができるようになるために、支援を行っていききたい。 →サロンがある地域も対象として、小合全体で考えることも検討してほしい。 地域に確認しないと需要がわからないし、広報する場合はチラシ等が必要。 	<p>○サロン活動の継続</p> <p>○小合コミ協でのサロン立ち上げを検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容の整理 ・チラシ等の検討 ・地域のニーズ確認

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
居場所	<p>(蕨曾根いきいきサロン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が減少し、継続が難しい。 ・子ども会と連携し、夏・冬休みは行事と一緒に活動する。 ・とくし丸が来る日に合わせてお茶を飲めるようにして、サロンを知ってもらおう。 <p>(サロンとき)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロコモやギターの活動をしている。 ・参加者の減少は感じている。 <p>(大秋にぎやかサロン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・亡くなる人が多く、新規の参加者・子どもの参加が少ない。 ・老人会と一緒に地域への声かけを進めていきたい。 <p>(ふれあい興寿)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブと一緒に活動している。 ・助成金を活用し、お茶をしながら交流をしている。 ・目的をもってサロン活動をすることが重要だと考えている。 <p>(子成場いきいきサロン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が高齢となり、数も減っている。 ・青年会と連携し、行事の工夫に取り組んでいる。 	<p>○子ども会との連携継続</p> <p>○老人会と連携した地域への呼びかけ</p> <p>○老人クラブとの連携</p> <p>○子どもなど、若い世代との交流を検討</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・小合小とも連携し、子どもと交流をしていきたい。 （サロンさくら会） ・高齢化があり、若い参加者がいない。 ・手伝いを呼びかけると来てくれるため、声かけが重要。 ・子どもとの交流など、新しいことをするのは大事。 ・地域の居場所づくりが必要だと感じる。 （大鹿ふれあいサロン） ・参加者は高齢者が多いが、元気に参加している。 ・若い人にも積極的に声をかけ、参加を呼びかけていく。 （包括こすど） ・小合地域はサロンが多く、活発である。 ・サロンの継続は難しいが、住民から楽しいという声も聞かれ、地域の居場所となっていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動内容の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・屋外での活動を増やす ・世代間交流を検討 ○若い世代の参加呼びかけ